

表1 MARK-I 型格納容器主要設計諸元

(改良型格納容器の例)

熱出力	約3,300MW	
構造様式	鋼製格納容器	
最高使用圧力	ドライウエル	4.35kg/cm ² ・G
	圧力抑制室	4.35kg/cm ² ・G
容 積	ドライウエル空間部	約8,800m ³
	圧力抑制室気相部	約5,300m ³
	プール水量	約3,800m ³
ベント系構成	ベント管の数	8本
	ダウンカマの数	80本
	ダウンカマ直径	約0.6m

(出典) 科学技術庁原子力安全局安全調査室 (監修): 改訂8版
原子力安全委員会安全審査指針集、大成出版 (1994)